

2020年度 前期企画展

自分史上、  
想像以上!

開設  
15  
周年  
記念



# 宮本輝 ミュージアムの あゆみ

## 授業期

[開館時間] 9:20-18:10 (月~金)

[休館日] 土曜・日曜・祝日

※4/29(水休)、5/4(日休)~6(水休)、7/23(木休)~24(金休)は開館します。

学休期 [4/1(水)~8(水)] [8/3(月)~9/11(金)]

[開館時間] 9:20-18:00 (月~金)

[休館日] 土曜・日曜・祝日 8/11(水)~18(火)

※詳しくは図書館HPでご確認いただくか、直接図書館にお問い合わせください。

主催: 追手門学院大学附属図書館宮本輝ミュージアム

後援: 茨木市、茨木市教育委員会、茨木商工会議所、茨木市観光協会

2020.

4.1 WED → 9.11 FRI



追手門学院大学附属図書館  
宮本輝ミュージアム

# 開設 15 周年 記念

2020年度 前期企画展

# 宮本輝 ミュージアムの あゆみ



宮本輝ミュージアムは、2005年5月、追手門学院大学安威キャンパスの附属図書館内に開設されました。ここには、宮本輝氏の全面的な協力の下、直筆原稿や初刊本、万年筆、筆、硯などの愛用品、映像化作品のアーカイブなど、約800点の貴重な品々が収められています。ミュージアムでは、これら収蔵品を中心とする常設展示に加え、年に二度、さまざまな企画展を行ってきました。

2020年は、開設15周年にあたります。これを記念し、本年度前期の企画展は、「宮本輝ミュージアムのあゆみ」と題して、これまでの企画展のパネルなどの展示を行い、これまでの歩みを振り返りたいと思います。

また、昨年2019年6月30日の追手門学院大学ホームカミングデーで行われた「対談」の中で、氏は、学生時代に読んでほしい作品、氏

ご自身が愛読していた作品などを、学生たちへの「推薦図書」としてお示しく下さいました。これらの作品も同時に紹介しています。そこには、氏の作品の源泉が窺えるかもしれません。

精力的に作品を発表され続ける作家の活動を、同時進行で追いかける宮本輝ミュージアムには、過去の作家を顕彰する文学館の役割とは相違して、作家の現在進行形の活動の躍動感をも伝えるという、困難でありかつ魅力的な使命があります。宮本輝ミュージアムの展示の変遷は、宮本輝文学の俯瞰図の変遷でもあります。

宮本輝ミュージアムの15年のあゆみをおとし、本学と、現代日本を代表する作家宮本輝氏との深いつながりを、改めてお知らせいただければと思います。

宮本輝ミュージアム プログラムディレクター  
真銅 正宏

## 展示内容

- ❖ 宮本輝ミュージアム年表
- ❖ これまでの企画展紹介資料
- ❖ 「推薦図書」紹介パネル

## topic

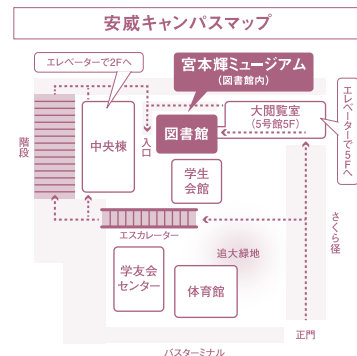
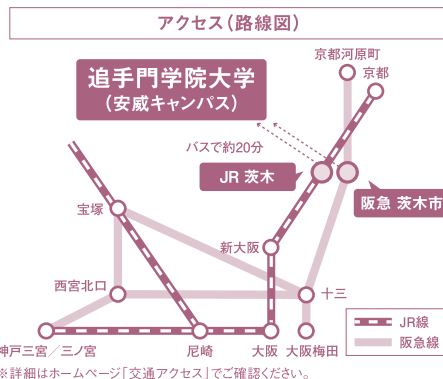
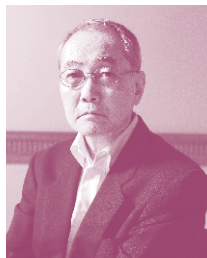
総持寺キャンパスに宮本輝コーナーを開設しました。氏の経歴や作品の背景を紹介するパネル、初版本、初出雑誌などを展示しています。作品の一部は手に取って読むことができますので、宮本輝文学の魅力を感じにぜひお越しください。

[アカデミックアーク 3F デイスカバープロムナード]



## 宮本輝ミュージアムについて

宮本輝ミュージアムは、追手門学院大学第1期生で現在も活躍する作家・宮本輝氏とその作品を紹介する場として、2005年5月追手門学院大学附属図書館内に開設しました。宮本輝氏の直筆原稿や、愛用品などを常設展示しているほか、作品をより深く感じていただけるよう、舞台背景の紹介や作品の魅力を伝える展示物などさまざまな角度から掘り下げた企画展を年2回開催しています。



## 宮本輝ミュージアム (安威キャンパス 追手門学院大学附属図書館内)

〒567-8502 大阪府茨木市西安威2-1-15 【開館時間】図書館開館時間に準ずる。  
TEL: 072-641-9638 FAX: 072-643-9786 ※詳しくはホームページでご確認ください。  
URL: (附属図書館) <https://library.otemon.ac.jp/>  
(宮本輝ミュージアム) <https://library.otemon.ac.jp/teru>